

令和3年度事業報告

公益社団法人鳥取県人権文化センターは、鳥取県、市町村、民間団体等との密接な連携のもと、人権に関する専門機関として次に挙げる事業を行った。

区 分	事 業 内 容
<p>1 人権啓発事業</p> <p>(1) 調査研究事業</p>	<p>①調査研究</p> <p>○次のテーマで調査研究を行った。※カッコ内は終了(予定)年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 偏見 (R3年度終了) ・ 災害と人権 (R3年度終了) ・ 新型コロナウイルス感染問題 (R3年度終了) ・ 対話による人権学習 (R3年度終了) ・ 子どもの人権 (～R4年度) ・ 続 今後の部落問題学習をどう展開するか (～R4年度) <p>○調査研究の成果を活かし、次のことを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 啓発教材の開発 <ul style="list-style-type: none"> 人権学習資料「バイアス、ミナオス？」 人権学習教材「リリース～災害と人権 誰一人取り残さないための心の安心ノート～」 ・ とっとり人権情報誌ふらっとへの啓発記事掲載 <ul style="list-style-type: none"> 第35号「特集 新型コロナウイルスと人権」 第36号「特集 ふらっとカフェ」 ・ ホームページに小論文(エッセイ)を掲載 <ul style="list-style-type: none"> 「災害と人権：福祉避難所を知っていますか？」 「対話による人権学習：ようこそ！ふらっとカフェへ」 「偏見：人権啓発関係者とバイアス」 ・ 県内各地の研修等への講師派遣（講演や学習プログラム内容に活用） <p>②効果的な人権啓発手法等の研究開発</p> <p>外部研修に参加し、最新の啓発手法や新たに表出した人権課題等を学んで技術習得や情報収集を行い、各種事業に活かした。</p> <p>延べ参加者数：16人 参加研修数：7件 ※うち3件はオンライン参加 参加研修 ※カッコ内は開催日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪多様性教育ネットワーク(ODEN) 6月オープン学習会(6/12) ・ (同上) 9月オープン学習会(9/8) ・ 一盛教授特別講義①人種主義とは何か(9/17) ・ (同上) ②「類的本質存在」再考ー種の「進化」と個体「発達」から考えるー(1/25) ・ (同上) ③「女子力」の何が問題か？ーネオベラリズムとフェミニズムの親和性ー(3/17) ・ 「第3回琴浦町人権・同和教育に関する意識調査」報告講演会(1/12) ・ 東京都人権啓発センター「ポストコロナ時代の人権教育・啓発とは」(3/5) <p>③効果的な事業展開・方向性等の協議</p> <p>○県内外の有識者と意見・情報交換を行い事業の方向性や内容に活かすため、事業アドバイザー会議を開催した。</p> <p>開催日：9月3日 ※オンラインで開催</p>

区 分	事 業 内 容
<p>(1)調査研究事業</p> <p>＜つづき＞</p>	<p>協議内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥取県立人権ひろば 21 事業の方向性について ・啓発効果向上のための鳥取県福祉教育との連携・協力について ・ふらっとカフェ事業の普及方法と注意点について <p>○県内企業の啓発ニーズの把握、及びセンター事業の認知度確認と事業PRのためアンケート調査を行った。</p> <p>実施時期：9月上旬 回答率：38.0%</p> <p>協力団体と対象企業：鳥取市人権啓発企業連絡会（会員企業 76 社） 倉吉市人権啓発企業連絡会（会員企業 17 社） 米子市人権問題企業連絡会（会員企業70社）</p>
<p>(2)研修事業</p>	<p>①人権啓発指導者養成のための講座の開催</p> <p>○「啓発者のための人権勉強会」を以下の通り開催した。</p> <p>開催数：6回 のべ参加者数：44人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉市立人権文化センター（5館合同）9月9日、10月7日、11月4日 ・鳥取県総務部人権局 10月14日(同日2回開催) ・湖南地区同和教育推進協議会 11月28日 <p>②一般啓発のための各種人権研修への支援・協力</p> <p>○県内各地の研修に専任研究員を講師として派遣し、当センターが開発した学習プログラムを中心に3つの学習スタイル（講演、ワークショップ、ふらっとカフェ）で研修を行った。</p> <p>派遣者数：48人 受講者数：2,920人 ※CATV放映やYouTubeストリーミング配信、研修収録DVDの視聴者等を除く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍への対応：オンライン研修 6回 ストリーミング配信（一定期間）1回 講演収録DVDの視聴 2回 CATV放映 1回 研修用資料を使った自宅学習 1回 ・3ステップ研修 ※研修目標の設定→研修実施→学習の定着・発展の3段階実施 ：鳥取県立米子養護学校 7月8日、7月29日 ※3回目は未実施 琴浦町教育委員会人権教育課 11月22日、12月2日、1月13日 鳥取中部ふるさと広域連合会 1月20日、2月18日、3月11日 <p>○人権研修の企画者等からの相談に対して、講師や教材等の情報提供及び研修内容や手法についての助言等を行った。</p> <p>対応件数：11件</p>
<p>(3)啓発・情報提供事業</p>	<p>①機関紙の発行</p> <p>○機関紙を作成し、配付した。</p> <p>A4版 4頁 2,000部 音声コードUni-Voice付き 発行：6月（第78号） 掲載内容：当センターと県立人権ひろば21の移転周知、事業紹介 配布先：会員、学校、図書館、行政・公的機関、県外関係機関等</p>

区 分	事 業 内 容
<p>(3)啓発・情報提供事業 <つづき></p>	<p>○県からの受託事業として作成した「とっとり人権情報誌ふらっと」を増刷し、会員等に配付した。 10月配付：とっとり人権情報誌ふらっと第35号 2月配付：（同上） 第36号</p> <p>②人権啓発パネルの展示・貸出 令和元年度までに作成した既成パネルを県内各地に無償で貸し出し、ふらっと交流スペースで展示した。 ※米子市人権情報センターの御協力で米子市からも貸出を実施 貸出先数：33団体 貸出セット数：62セット 主な貸出先：人権センター、人同推協、公民館等</p> <p>③インターネットを活用した各種情報の発信</p> <p>○ホームページによる情報提供を行った。 掲載記事数：43件…発行物の紹介（機関紙、情報誌、啓発資料等） 事業案内（講師派遣、人権勉強会、メールマガジン配信等） 移転案内、ふらっと交流スペース展示案内等 年間閲覧者のべ数：15,140人</p> <p>○フェイスブックによるホームページへの誘導を行った。 発信記事数：32件…ミニ学習会開催案内、ふらっと交流スペース展示案内、メールマガジン配信案内等</p> <p>○メールマガジンによるタイムリーな情報の発信を行った。 通常配信（毎月第4水曜日）：12回 臨時配信：3回（ふらっとカフェ開催案内） 登録者数：175人</p> <p>④視覚障害に対応した啓発資料の作成</p> <p>○次の資料について点字版・音声版を作成し、ふらっと人権ライブラリーに開架した。 ・令和2年度人権学習資料（こころのえっ!?本/リーフレット版） ・当センター及びふらっとの紹介リーフレット2種（移転に伴い改訂）</p> <p>○機関紙ととっとり人権情報誌ふらっとの各頁に音声コード(Uni-Voice)を配した。</p> <p><その他></p> <p>○人権啓発グッズの制作と配布 昨年度より更に集合研修の開催が困難となる中、県内各所からのニーズに応じて、個人が日常的に人権を意識するための啓発グッズを製作した。 グッズの種類：マスク用アロマシール 個数：2,000個 配布先：一般県民（企業・団体の人権研修参加者等に配布）</p> <p>○調査研究エッセイの紙資料版の作成 集合研修の開催が困難となり、代わりに啓発資料を配付したいとの県内各地からの要望を受けて、これまではHP上でのみ閲覧可能だった調査研究エッセイを配付可能な資料に仕立てた。 今後市町村等にPRし、活用を促進する。</p>

区 分	事 業 内 容
(4)ネットワーク事業	<p>①人権啓発関連団体との協働</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」に次の通り参画した。 開催日：8月3日(予定) ※コロナウイルス感染症対策として書面開催 <ul style="list-style-type: none"> ・職員等を各用務に配置：実行委員会副会長、企画推進委員、本部役員、基調提案作成委員 ・第4分科会の企画運営 ※書面による報告 ○「人権啓発活動ネットワーク協議会」に次の通り参加した。 <ul style="list-style-type: none"> ・協議会への参加：4月20日、8月26日、10月5日、1月27日 ・「みんなの人権フェスティバル」開催：11月27日 ※オンライン開催 <p>②啓発関連イベントへの協力 COVID-19のためイベントが縮小・中止され、協力の機会がなかった。 ・職員参加：なし 着ぐるみの派遣・貸出：なし</p>
(5)鳥取県部落解放研究所 継続事業	<p>①効果的な人権啓発手法等の研究開発 人権啓発に係わる各種の全国集会・研究会等に参加し、全国の最新の啓発状況とさまざまな人権課題等の現状について情報収集した。 延べ参加者数：18人 参加研修数：3件 ※すべてオンライン参加 参加研修 ※カッコ内は開催日 <ul style="list-style-type: none"> ・部落解放・人権西日本夏期講座(6/17) ・第52回部落解放・人権夏期講座(8/20) ・第36回人権啓発研究集会(2/2-4) </p> <p>②各種啓発資料等の作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人権学習資料を作成・配布した。 「バイアス、ミナオス？」(B5版 12頁 3,000部) 配付先：会員(県市町村、企業・団体、個人)、人権センター、県教委・教育局等 ※要望に応じて各地に追加配布の予定 ○人権学習教材を作成・配付した。 「リリーフ～災害と人権 誰一人取り残さないための心の安心ノート～」 (A4版 16頁 850部) 配付先：会員(県市町村、企業・団体、個人)、県教委・教育局、公民館、 県市町村社会福祉協議会等
(6)人権相談事業	<p>人権相談窓口の設置</p> <ul style="list-style-type: none"> ○毎週水・土・日曜日に人権相談員1名が面談、電話、メール等で対応した。 相談件数：226件(面接4件、電話221件、メール1件) 相談内容：人権相談5件(女性、移住者、障がい、宗教、プライン関連) 一般生活相談221件
(7)受託事業	<p>「とっとり人権情報誌ふらっと」の作成・発行</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県総務部人権局より事業を受託し、次の通り行った。 A4版 8ページ 各回15,000部 発行：10月(第35号)、2月(第36号) 掲載内容：特集(啓発記事)、県からの啓発情報(県が執筆担当)、 県立人権ひろば21ふらっとお知らせ記事 配付先：企業(約13,000社)、市町村、小中高校、県内関係機関等

区 分	事 業 内 容
<p>2 鳥取県立人権ひろば 21 「ふらっと」の管理運営</p>	<p>指定管理者として管理運営を受託（2019～2023年度）し、次の事業を行った。 入館者数：2,517人</p> <p>①人権ライブラリーの管理・運営 貸出件数：2,542件（図書2,018冊、DVD524本） ※うち宅配サービスまたは図書館経由を利用した件数：114件 新規購入数：153件（図書128冊、DVD25本）</p> <p>②交流スペースの管理・運営</p> <p>○パネル展等を実施した。 実施回数：13回 協力団体：困り感を抱える子を支援する親の会(らっきょうの花)、 鳥取県立琴の浦特別支援学校、認定NPO法人十人十色、 鳥取県JICAデスク、鳥取県立聾学校、鳥取県立白兎養護学校、 社会福祉法人もみの木福祉会、鳥取アディクション連絡会</p> <p>○ミニ人権学習会を人権関連団体と協力して開催した。 実施回数：3回 のべ参加者数：106人 ※うちオンライン参加60人 ・「大友剛(おおとも たけし)さんを囲んで～子どもたちの『自由な学びとは何か』を考える～」鳥取まなびの会 11月13日 ・「気になる子に遺す準備～親が元気なうちにできること～」 困り感を抱える子を支援する親の会(らっきょうの花) 11月14日 ・「学びの在るべき姿とは」大学生サークル馬っ子部 2月6日</p> <p>○交流スペースを民間団体等に無償で貸出し、広く人権に関連する勉強会や打ち合わせ等に活用された。 利用回数：18回 利用者数：105人 利用団体：コトモニ（NPO法人ママの働き方応援隊）、もりたね会、 鳥取南更生保護女性会、とっとり若者サポートステーション、 認定NPO法人ハーモニカレッジ、ハングルコスモス、 琴浦町教育委員会人権・同和教育課</p> <p>③その他施設の管理運営</p> <p>○インターネット等による情報提供を行った。 LINEの公式アカウントを開設（1月4日） 友達登録：16人</p> <p>○対話型の人権学習「ふらっとカフェ」を開催した。 開催回数：6回 参加者数：34人 ・「女子力って何？」（6月23日） ・「愛国心って何だ？」（7月15日） ・「愛は地球を救えるか？」（9月7日） ・「私らしさ!？」（9月28日） ・「“笑い”と差別の境界線」（11月12日） ・「幸せの定義」（11月21日）</p> <p>○とっとり若者ステーションの仕事体験グループワークを受け入れた。 実施回数：11回 参加者数：60人 実施作業：書籍返却、本の修繕、POP作成等</p>

区 分	事 業 内 容
2 鳥取県立人権ひろば 21 「ふらっと」の管理運営 <つづき>	○COVID-19対策として、感染状況に応じて次のことを行った。 手指消毒とマスク着用指示、清拭消毒（机・椅子、返却物等） 換気・CO2センサーの設置、お茶コーナーの閉鎖、 無来館利用の奨励（宅配・図書館経由の利用PR）、 利用時間の制限（30分）等
3 理事会・総会の開催	業務の適切な執行及び審議のため、理事会及び総会を開催する。 ①理事会の開催 ○第1回通常理事会（書面決議） 期日：令和3年5月10日 会場：県立人権ひろば 21 「ふらっと」2階会議室 議事：・令和2年度事業報告及び決算について ・令和3年度補正予算（案）について ・役員を選任（案）について ・令和3年度定時総会の招集（案）について ○第1回臨時理事会 期日：令和3年11月1日 会場：県立生涯学習センター「ふれあい会館」4階大研修室 議事：・令和4年度事業計画（要望案）について ・令和4年度収支予算（要望案）について 報告：・会長、副会長、常務理事の職務執行状況について ・令和3年度前期事業報告について ○第2回通常理事会（書面決議） 期日：令和4年3月4日 議事：・令和3年度補正予算（案）について ・令和4年度事業計画（案）について ・令和4年度当初予算（案）について 報告：・会長、副会長、常務理事の職務執行状況について ②総会の開催 ○定時総会（書面決議） 期日：令和3年5月25日 議事：・令和2年度事業報告及び決算について ・役員を選任（案）について

〈事務局組織〉

（令和4年5月現在）

・常務理事（兼事務局長）	1名（常勤）
・次長兼上席専任研究員	1名（常勤）
・専任研究員	3名（専任職員3名 常勤）
・書 記	2名（常勤）
・人権相談員	2名（非常勤。水・土・日曜日のローテーション勤務）
・ライブラリー相談員	3名（非常勤。年末年始・祝日以外のローテーション勤務）
.....	
計	12名（常勤7、非常勤5）

〈参考〉 指定管理施設である「鳥取県立人権ひろば 21」(ふらっと)の職員組織

・館長	1名（常勤・人権文化センター事務局長が兼務）
・次長	1名（常勤・人権文化センター次長が兼務）
・書記	1名（常勤・人権文化センター書記（うち1名）が兼務）
・ライブラリー相談員	3名（非常勤）
.....	
計	6名（常勤（兼務）3名、非常勤3名）